



グッドキャリア企業アワード2019

イノベーション賞

[厚生労働省人材開発統括官表彰]

三菱ケミカル株式会社



評価のポイント

全社員のキャリアデザイン面談を実施するなど グループ一丸でのキャリア形成支援

経営者からのメッセージ

私たちは、会社の持続的な成長を支えるのは、社会の変化を捉え自ら成長し続ける従業員一人ひとりであると考え、「キャリアデザイン」に取り組んでいます。今回の受賞を励みに、私たちの施策もさらに成長させていきます。

執行役員 人事部長
金丸 光一郎



企業概要

- 事業概要：機能商品、素材他
- 業種：有機化学工業製品製造業
- 所在地：東京都千代田区
- 従業員数：18,087人
(男性15,509人、女性2,578人、うち非正規雇用1,119人)
- 平均年齢：42歳8か月
- 創業年：1933年

キャリア形成支援担当者紹介

[キャリア形成支援の取組をして良かったこと]

多くの社員の声をもとに、組織の課題を把握し、課題解決に繋げられたこと。

[キャリア形成支援の取組で苦労したこと]

なぜ、今「キャリア」を考えることが必要か？を社員一人ひとりに理解してもらうこと。

人事部キャリアサポート室
竹内 昌子室長ほか、
担当年数：2年半



取組を始めたきっかけとこれまでの経緯

社員一人ひとりが自律的にキャリアを考えることが会社の持続的な成長につながると考えました。それは、当社の経営基本方針のひとつ「人を活かす経営」に掲げる、意欲的、自発的、主体的に仕事に取り組む人材の育成に寄与するものと考えております。統合時より一貫してキャリア施策に取り組んでいます。

具体的な取組

2017年3社統合を機にキャリアサポート室を発足

2017年に発足した三菱ケミカル(三菱化学、三菱樹脂、三菱レイヨン)では社員のキャリアデザイン面談制度を新設し、年に1回、上司と部下がキャリアについて考える場を設けました。これまで社員が主体的にキャリアを考える文化がなかったため、キャリアサポート室を立ち上げ、キャリアの理解・浸透と個別支援を軸として、様々な施策を実施しています。

- キャリア相談窓口(いつでもキャリア相談)の設置
- キャリアデザイン面談制度の新設および面談シートからの相談申し込み機能付加
- 移動キャリアサポート室による各拠点での説明会やワークショップの開催
- 階層別教育でのキャリア教育の実施
- 入社3年目社員や公募異動者等への面談実施・職位者を対象とした面談スキル研修の実施等

キャリア相談窓口は、室のメンバー以外に社内の有資格者に登録頂き、社員の相談に対応協力してもらっています。また、階層別教育の研修フォローの位置づけとして研修参加者全員と面談を実施し、対象層としての課題抽出や内省を通じた中長期的なキャリア意識の醸成を図っています。



今後の課題と展望

更なるキャリア理解・浸透の促進と組織課題への対応

- 変化を受け入れ、変化に即したキャリアを柔軟に考えることができる人材育成
各社員がキャリアを主体的に考えるためのワークショップや研修について、人事制度革の中で体系的に整えていきます。
- 製造オペレーター層を中心としたキャリア教育
徐々にキャリアの理解は進んでいますが、異動が殆どない製造オペレーター層に対しては工夫が必要と考えています。
- 個々の支援の先にある、取り巻く環境(職場)支援
個人で解決できない課題が多い中、個人を取り巻く職場支援が必要と考えています。動きやすい環境向上のため、サーベ이를基軸とした組織開発に取り組んでいます。

取組の効果

社員のキャリア自律への意識変化

キャリア理解浸透施策として国内各拠点への移動キャリアサポート室の実施やキャリアデザイン面談シートへのキャリア相談申し込み機能の付加により、2017年度のキャリア相談件数39件に対し、2018年度の件数が約248件と大幅に増加しました。また、各施策の社員の反応に変化を感じており、徐々に自分事としてのキャリア自律が少しずつ進んだと思います。キャリア相談・面談からの様々な課題を人事施策につなげることができています。

社員の声

- Q1 自身のキャリアを考えるきっかけ(制度・出来事など)とは?
Q2 その後、取り組まれたことや起こった変化とは?
Q3 築いたスキルを今後どう活かしていくか、または将来ありたい姿とは?



人事部
グローバル
HRグループ
加藤 美希

A1 入社4年目で海外ビジネスチャレンジ制度を活用し、中国にトレーニー(約1年)として駐在したことで、育休を取得したことです。

A2 海外ビジネスチャレンジ制度を通して、現地の人事関連知識や文化に対する理解を深めることができました。中国語・英語の学習を継続的に取り組み、日本に帰国し、育休を取得した後も、グローバルな業務に携わることができています。

A3 育児とうまく両立しながら、海外(特に中国)において人事のプロフェッショナルとして活躍できる人材になりたいと考えています。



福岡事業所
品質保証部
企画調整
グループ
秋子 敦子

A1 事業所の「女性活躍、ダイバーシティ推進」のプロジェクトに参画し、会社の取組や皆さんの声を聞くことで自身のキャリアについても考えるようになりました。躊躇していた管理職昇格も前向きに捉えることができました。

A2 仕事の範囲が広がり、キャリアコンサルタントの資格を取得しました。社内キャリアサポーターの一員として、キャリアに関する相談を受ける業務も担当しています。

A3 仕事を通じて成長できるチーム作りに貢献したいと思っています。また、人生100年時代といわれる今、自身もとどまることなく新しいことにチャレンジしてイキイキと過ごしていくことが目標です。